



2019年11月6日

各 位

会社名 G - F A C T O R Y 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之  
(コード： 3474 東証マザーズ)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 田口 由香子  
(TEL. 03-5325-6868)

2019年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2019年5月14日に公表いたしました2019年12月期通期(2019年1月1日～2019年12月31日)の連結業績予想につきまして、最近の業績動向および今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期の連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,056	217	216	135	21.12
今回発表実績 (B)	3,952	76	88	52	8.22
増減額 (B - A)	△103	△141	△127	△82	-
増減率 (%)	△2.6	△65.0	△59.0	△60.9	-
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期実績)	2,941	234	231	148	22.91

2. 連結業績予想修正の理由

当社は、主力の経営サポート事業につきまして、サービス別サポートからトータルサポート体制への構築及び国内市場から海外市場への展開を中心に取り組んでまいりましたが、人材の確保と育成が先行したことや海外サポートの立ち上がりが遅れたことから、収益獲得について計画を下回る見込みであり、売上高、利益ともに前回予想を下回る主たる要因となりました。

また、利益につきましては、ベトナム社会主義共和国において日本の飲食企業とベトナム人材を

繋ぐサポートを目的として、前回予想には反映されておりましたが、当社グループ会社直営による「名代 宇奈とと」のベトナム1号店の出店及び実践的な研修を行うことのできるトレーニングセンターの開設を進めたことで、物件及び人員確保の費用が生じたこと、及び2019年3月1日に株式会社 M. I. T を完全子会社化し、労働環境の整備および業態変更等による収益力拡大に取り組んだ結果、人件費等が想定を上回ったこと、などから販売費及び一般管理費が増加したことも前回予想を押し下げる一因となっております。

以上のことから、上記1. のとおり連結業績予想を修正しております。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績の業績は今後の経済・事業環境の変動等の事業リスクや不確定要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上